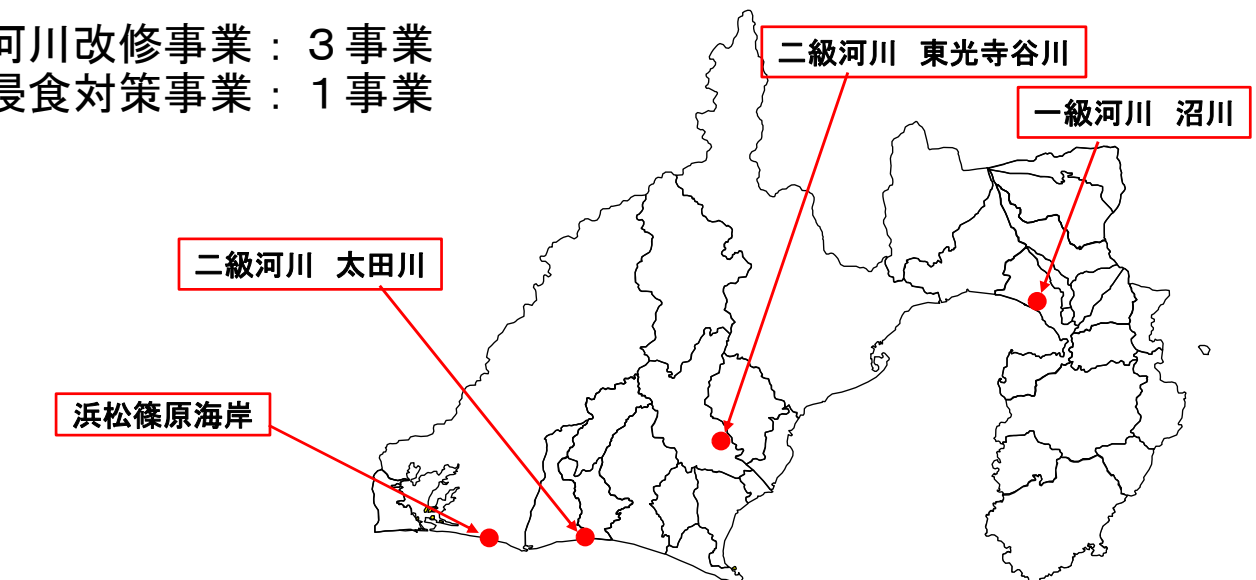


		※国交省所管事業版		資料2(様式1)																																	
番号	6	令和8年度公共事業再評価調査																																			
		担当課名		河川海岸整備課																																	
事業名	大規模特定河川事業、広域河川改修事業		事業主体	静岡県																																	
ふりがな	いっきゅうかせん めまがわ																																				
箇所名	一級河川 沼川		関係市町	富士市・沼津市																																	
事業採択年度	平成 24 年度		計画期間	平成24年度 ～ 令和14年度																																	
用地着手年度	平成 24 年度		工事着手年度	平成 28 年度																																	
再評価理由※	社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業																																				
全体事業費	百万円 51,570	投資状況 (百万円)	～R6年度 26,948	R7年度 5,563	R8年度見込 1,580																																
					計 34,091																																
事業概要	(1)事業目的 沼川支川の高橋川から直接駿河湾へ放流する放水路を整備し、河川整備計画に位置付けられた10年に1回程度発生すると想定される規模の降雨による洪水を安全に流下させ、沼津市西部市街地の浸水被害の解消を図る。 (2)事業内容 河川改修：延長2,300m（放水路新設）、橋梁工7橋、樋門・樋管工6基																																				
【視点1】	(1)事業を巡る社会経済情勢等の変化 沼津市西部は、堤内地盤高が低いことと市街地化により田畑の遊水機能が低下し、集中豪雨により度々浸水被害が発生する地域になっている。計画区間内及び周辺には、東海道本線、東海道新幹線、東名高速道路、新東名高速道路等があり、沼津市中心市街地も近く、工場等も数多く立地している。このため、水害リスクは高い状況となっている。 事業対象地区周辺では、令和3年7月の基大な浸水被害（床上157戸、床下56戸）に続き、令和5年6月出水で浸水被害（床上98戸、床下67戸）が発生している。地元住民の事業に対する期待は大きく、本事業の整備メニューが浸水被害が頻発する地域を対象にした「水災害対策プラン」にも位置付けられるなど、早期の改修が望まれている。 (2)事業の投資効果 ○費用便益分析結果（令和 8 年度時点） <table><tr><td>B/C (i=4%)</td><td>参考:B/C (i=2%)</td><td>参考:B/C (i=1%)</td><td>EIRR</td></tr><tr><td>1.7</td><td>2.8</td><td>3.7</td><td>5.9%</td></tr></table> - 総便益 (B) 879.14 億円（被害軽減便益：871.84億円、残存価値便益：7.30億円） - 総費用 (C) 521.45 億円（建設費：463.53億円、維持管理費：57.92億円） ○見込まれる効果（定性的な効果） - 住民の精神的負担の軽減と安心感の向上 - 地域経済と社会活動の安定 (3)事業の進捗状況（令和 8 年度見込み） <table><tr><td colspan="2">区 分</td><td>進捗率</td><td colspan="2">内 訳</td></tr><tr><td colspan="2">事業費</td><td>66.1%</td><td colspan="2">（ 34,091 百万円 ／ 51,570 百万円 ）</td></tr><tr><td rowspan="2">事業量</td><td>河川トンネル</td><td>55.7%</td><td colspan="2">（ 294 m ／ 529 m ）</td></tr><tr><td>橋梁</td><td>42.9%</td><td colspan="2">（ 3 橋 ／ 7 橋 ）</td></tr><tr><td colspan="2">用地取得</td><td>100.0%</td><td colspan="2">（ 98,356 m² ／ 98,356 m² ）</td></tr></table>					B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR	1.7	2.8	3.7	5.9%	区 分		進捗率	内 訳		事業費		66.1%	（ 34,091 百万円 ／ 51,570 百万円 ）		事業量	河川トンネル	55.7%	（ 294 m ／ 529 m ）		橋梁	42.9%	（ 3 橋 ／ 7 橋 ）		用地取得		100.0%	（ 98,356 m ² ／ 98,356 m ² ）	
B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR																																		
1.7	2.8	3.7	5.9%																																		
区 分		進捗率	内 訳																																		
事業費		66.1%	（ 34,091 百万円 ／ 51,570 百万円 ）																																		
事業量	河川トンネル	55.7%	（ 294 m ／ 529 m ）																																		
	橋梁	42.9%	（ 3 橋 ／ 7 橋 ）																																		
用地取得		100.0%	（ 98,356 m ² ／ 98,356 m ² ）																																		
事業の必要性																																					
			評価	継続が妥当																																	
【視点2】	今後の事業の進捗の見込み 用地取得が完了しているため、引き続き各工事を実施し、計画的な事業進捗に努めることで早期の効果発現を図る。																																				
			評価	継続が妥当																																	
【視点3】	新たなコスト削減・代替案立案等の可能性 他事業で発生した土砂を改良し、築堤盛土に利用してコスト削減を図る。																																				
対応方針(案)	(1)対応方針（案） 本事業を 【 継続 】 する。 (2)理由 本事業は、沼津市西部地域の治水安全度を向上させ、浸水被害の（概ね）解消を図るものである。費用対効果も見込まれ、住民の改修への期待は非常に大きく、地域の安全・安心に寄与することから、事業を継続して早期完成を図る。																																				

※「再評価理由」は、静岡県交通基盤部、くらし・環境部所管公共事業再評価実施要綱第2に規定する区分に従って記載する。

河川改修事業：3事業
浸食対策事業：1事業



番号	事業名	箇所名	代表事業
1	河川改修事業	二級河川東光寺谷川	
2	河川改修事業	二級河川太田川（下流工区）	○
3	河川改修事業	一級河川沼川	
4	浸食対策事業	浜松篠原海岸	

交通基盤部 河川砂防局 河川海岸整備課

1. 沼川位置図

2



2. 事業概要

3



計画期間	平成24年～令和14年
整備目標	10年に1回程度発生すると想定される規模の降雨による家屋浸水被害を概ね解消
全体事業費	516億円
投資状況	341億円 66% (R8年度末見込み)

過去における浸水被害状況		
発生年月日	床上浸水 (戸)	床下浸水 (戸)
H16.10.9	10	10
H19.7.14	18	82
H20.7.3	17	64
H22.3.15	1	3
H26.10.6	4	54
R3.7.2～3	157	56
R5.6.2～3	98	67

直近の災害の降雨量 (愛鷹観測所)	
発生年月日	24h最大
R3.7	452mm
R5.6.2～3	449mm

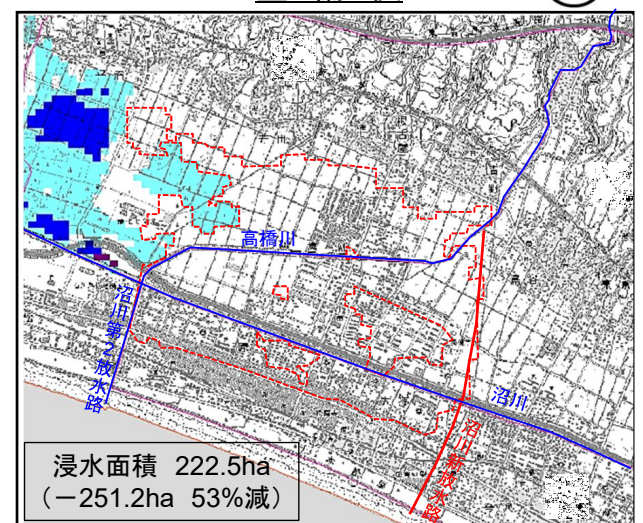
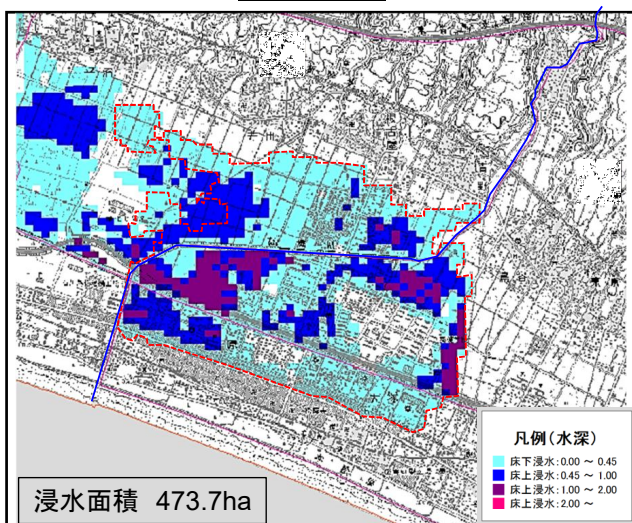
3. 事業の必要性 (事業の効果)

4

【整備目標規模(年超過確率1/10)洪水による氾濫シミュレーション結果】

整備前

整備後



本事業を実施することにより
沼川第2放水路から新放水路区間における浸水被害が[概ね]解消される

3. 事業の必要性（事業の効果）

5

$$\text{費用便益比 (B/C)} = \frac{\text{被害軽減便益} + \text{施設の残存価値}}{\text{事業費} + \text{維持管理費}}$$

総費用 (C) = 52, 145百万円 ※

事業費：46, 353百万円

維持管理費：5, 792百万円

総便益 (B) = 87, 914百万円 ※

被害軽減便益：87, 184百万円

施設の残存価値：730百万円

費用便益比 (B/C) = 1.7

※令和8年換算価値

4. 事業の進捗状況

6



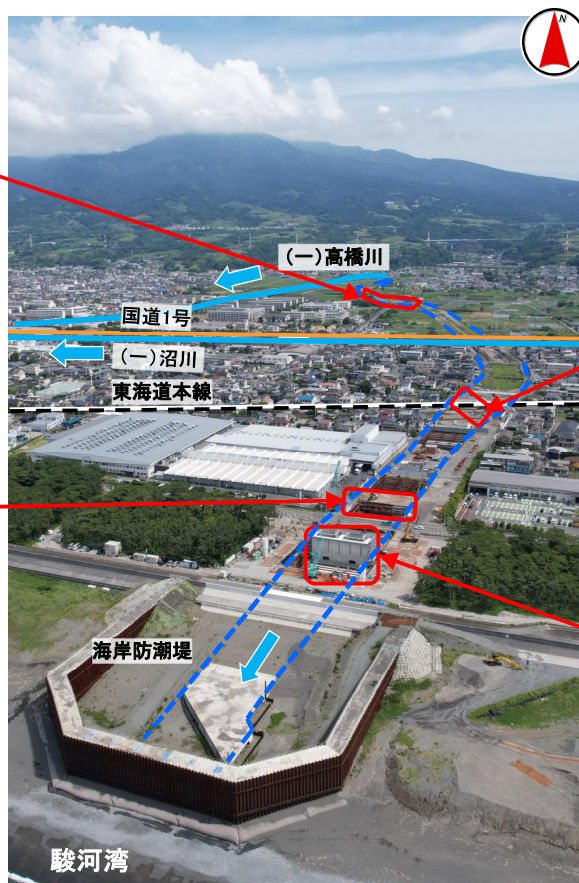
築堤盛土(県施工)



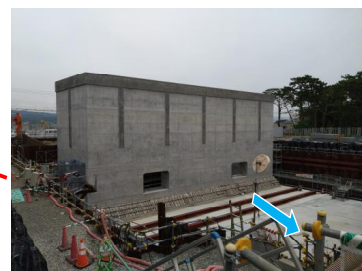
函体工(県施工)

事業進捗率

全体事業費	51,570百万円
投資額	34,091百万円
事業進捗率	66%



JR交差部 函体工
(JR委託工事)



水門工事(県施工)

5. 前回(R6再評価)からの変更点・理由

7

区 分	前回(R6)	今回(R8)	主な変更理由
①計画期間	H24～R14	H24～R14 (±0年)	労務・資材単価の上昇に伴い、全体事業費を増額する。
②全体事業費	470億円	515.70億円 (+45.70億円)	

6. 今後の事業進捗の見込み

8

- 用地買収が完了しているため、引き続き各工事を実施し、計画的な事業進捗に努めることで早期の効果発現を図る。

7. 新たなコスト縮減・代替案立案等の可能性

- 当事業の発生土と他事業の発生土を混合処理し、築堤盛土に利用してコスト縮減を図る。

8. 対応方針(案)

- 本事業は、沼津市西部地域の治水安全度を向上させ、浸水被害の解消を図るものである。
- 費用対効果も見込まれ、住民の改修への期待は非常に大きく、地域の安全・安心に寄与することから、事業を継続して早期完成を図る。